

平成 21 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「奨励賞」



武 田 純 子（たけだ じゅんこ）

有限会社 ライフアート

1949 年 1 月 22 日生まれ

【授賞理由】

グループホームにおける緩和ケアと看取りに対する活動は認知症の人たちと家族に人として最期まで自分らしく生き続けるための勇気と希望を与えるとともに地域連携の確立およびスタッフの意識改革に大きな影響を与えた。その活動に対し本賞を贈るとともに、今後の更なる活動を期待し本賞を授与するものである。

【略歴】

1970 年 4 月～1987 年 12 月	釧路赤十字病院・道立釧路病院
1988 年 1 月～1991 年 6 月	札幌しらかば台病院
1991 年 7 月～1998 年 5 月	医療法人櫛の会みどり野医院老人保健施設 yew
1998 年 10 月～2000 年 3 月	医療法人豊生会グループホームすぎの子の家
2000 年 8 月～	有限会社ライフアート、グループホーム福寿荘

【業績および功績】

1999 年～2007 年 9 月までの全国グループホーム協会研修委員として、全国のグループホームの方々と認知症の人の生活支援について模索。また、北海道のグループホーム協議会においても研修担当理事として、認知症ケアの質の向上に努めてきた。2006 年より、若年認知症の方々を対象としたグループホームとデイサービスを運営。通常の高齢によるものとは違った課題を持った方々に対して新たな試みを続けている。本人や家族が、認知症という病気を受け入れ希望と勇気を持って生きるための支援の一つとして、楽団[FUKU]を結成し演奏活動を行っている。オーストラリアのクリスティーン・ブライデン氏との出会いから、オーストラリアの認知症の人たちと言葉の壁を越えての交流を行う。また、北海道の福祉系の大学から、ゲストスピーカーとして次世代の福祉を担う学生との交流を図り、人材育成にも力を注いでいる。

【学会報告】

- ・痴呆の人の QOL を目指したアセスメントの検討（発表者）／第 1 回日本痴呆ケア学会
- ・痴呆性高齢者グループホーム新入居者の初期混乱の緩和に向けたケアの検討（共同研究者）／第 2 回日本痴呆ケア学会
- ・その人らしい暮らしを支えるためのケアの展開；全人的生活支援アセスメントを用いて（共同研究者）／第 3 回日本認知症ケア学会